

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆さまには、日頃から町政へご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は、4月に熊本地方を震源とする「平成28年熊本地震」が発生し、改めて自然の脅威を痛感した一年でした。町内では、地震発生直後に一時約13,000人の住民が避難生活を送り、現在でも約260世帯が仮設住宅での生活を余儀なくされています。また、住宅のり災証明申請は約4,000件に達し、うち1,400件以上が半壊以上の判定となっております。さらには、工場・店舗や各種農業施設などの被災により、町の経済産業が受けた被害も甚大なものとなりました。公共施設においても、使用不能となった役場庁舎をはじめ、学校や体育館、公民館などが被災し、利用者の皆さまにご迷惑をお掛けしている状況です（震災関係の数字は12月12日現在）。

明けましておめでとうございます。

平成29年を迎え、議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。町民の皆様をはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に対して温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、4月14日と16日に発生した、熊本地方を震源とする「熊本地震」が熊本県下に甚大な被害をもたらしました。熊本県内では、死者が災害関連死を含めて150人にのぼりました。大津町では、12月12日現在、直接的な死者はなかったものの、災害関連死3人、重傷者9人のほか、住宅被害が3,975棟にのぼり、全壊145棟、大規模半壊209棟、半壊1,082棟、一部損壊2,576棟という甚大な被害をもたらしました。

4月14日の前震以降、強い余震が続き、十分な食料もない中で、一時は町指定以外の避難所や車中泊も含め、最大83箇所に13,000人が避難するなど、非常に危険な状態が続きました。地震によって町内全域で停電や断水が発生し、JＲ豊肥本線の肥後大津―阿蘇間の不通、地割

りました。今後も、こうした人と人の絆や連携を大切にしながら、被災された皆さまの暮らしや命、財産を守り、一日も早く元の幸せな生活に戻れるよう大津町の復旧・復興に全力をあげて取り組んでいきたいと考えております。まずは、復旧・復興計画を3月末までに策定し、実行してまいります。

また、地震の被害は直接的なものだけでなく、国道57号線の迂回路となったミルクロード沿線では、急激な交通量増加による騒音・振動などの間接的な被害も発生しています。その対応策として、国道57号線の代替ルートである中九州高規格道路（阿蘇―大津間）の整備が進んでおりますが、ミルクロードおよびミルクロードに接続する道路につきましても早急な被害緩和対策を県や国に対しお願いしているところです。

さらに、中九州高規格道路（阿蘇―大津間）の5カ年の整備が進むにつれて、交通の流れやその変化することが予想されることから、工業団地や商業地域等の土地利用「用途地域」を含めた都市計画マスタープランを見直すことにより、産業育成や企業

れや土砂崩れ、道路の陥没や阿蘇大橋の崩落など、ライフラインにも深刻な被害をもたらしました。

また、農業用施設や学校施設などで地震に関連した被害がいたるところで発生し、地震の直接被害ではありませんが、国道57号被災のため迂回路となっているミルクロード沿線では、交通渋滞のほか、騒音や振動などの間接的な被害も発生し、町民の皆様の生活にも影響をおよぼしております。被害の規模も大きく、町内全域にわたっており、早期に完全復興できるものではないかもしれませんが、1日でも早く以前のように安心して暮らせるよう議会といたしましても支援してまいります。

昨年、大津町は合併60周年という歴史的に大きな節目の年を迎えました。これもひとえに町民の皆さんのご理解、ご協力とこれまで町政全般に携わってこられた関係者各位の努力の賜物であると思います。わたくしたち議会といたしましても、町発展の礎を築かれた先人のご努力に敬意を表しますとともに、今後更なる繁栄と飛躍のため、町当局と協力、あるいは切磋琢磨しながら、努力してまいります。

誘致を進め、さらなる雇用の創出、そして生活再建を図り、福祉の充実やスポーツ振興など新しいまちづくりの皆様と共にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

そして、昨年、大津町は町村合併60周年という大きな節目を迎えました。今日の町の発展は、先人たちが夢や希望を持って、まちづくりのためにたゆまぬ挑戦を続けられたおかげだと受け止めております。町の発展に寄与されてきた多くの町民の皆さまに改めて敬意と謝意を表すとともに、今後も「人と自然、共に元氣、心かよい合うまち」の実現を目指し、町民の皆さまと心をひとつにしてまちづくりに取り組んでまいります。本年も町政に対するご支援とご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、今年一年が皆さまにとって、そして大津町にとって良い年となりますよう、皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

大津町長 家人 勲
副町長 田中 令児
教育長 齊藤 公拓

と思っております。

また、議会のさらなる充実と活性化のために、昨年は先進事例の研修を行うなど、「議会活性化特別委員会」の活動に取り組みました。ただし、現在の議員の任期が2月末をもって任期満了となりますので、2月5日に町長選挙と議会議員選挙の同日選挙が予定されております。議会活性化の取り組みにつきましても、今後、大津町議会の新しい体制へ引き継がれることとなります。今後も透明性の高い議論の展開を目指していくとともに、安心と安らぎのある地域社会であるよう検証してまいります。

最後になりましたが町民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大津町議会議長 大塚龍一郎
町議会議員

金田 英樹 豊瀬 和久
佐藤 真一 松田 純子
桐原 則雄 本田 省生
府内 隆博 吉永 弘則
源川 貞夫 坂本 典光
手嶋 靖隆 永田 和彦
津田 桂伸 荒木 俊彦



平成29年 新年のごあいさつ

